

1 はじめに

PC の電源は入るが Windows が起動しなくなった PC の HDD から大事な文書等利用者作成のデータを救出する方法を紹介する。救出するには HDD を取り出し別の PC に繋ぐ方法が一般的だが、今回紹介するのは PC を分解することなく CD から起動可能な KNOPPIX (クノーピクス) と呼ばれる Linux System を使い USB メモリに大事なデータを救出する。

2 KNOPPIX の入手

KNOPPIX の公式サイトからダウンロードし CD に焼く (CD の記憶容量は 700MB 必要)。最新バージョンは 6. 0. 1。日本語対応版は産業技術総合研究所が公開している。

3 KNOPPIX の起動

PC の起動は通常 HDD からになっているため BIOS 設定から Boot の起動順位を変更し、CD から起動するようにする。BIOS 設定は PC の電源投入後メーカーロゴが表示されている間に画面下に表示があるのでその指示に従う。CD から起動できる用意ができたなら CD をドライブに入れ起動する。間もなく画面上に boot: と表示されるので Enter キーを押下。2分ほどで KNOPPIX が起動し、図 1 のようなデスクトップが表示される (画面は KNOPPIX 5.0 版のもの)。

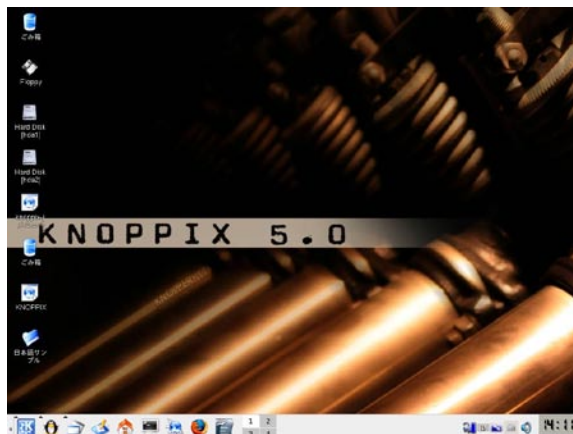


図1 KNOPPIX のデスクトップ



KNOPPIX が HDD を認識すると図 2 のように Hard Disk のアイコンが表示される。シングルクリックし図 3 のように HDD の中身が表示されれば救出可能かも。

図2 Hard Disk のアイコン

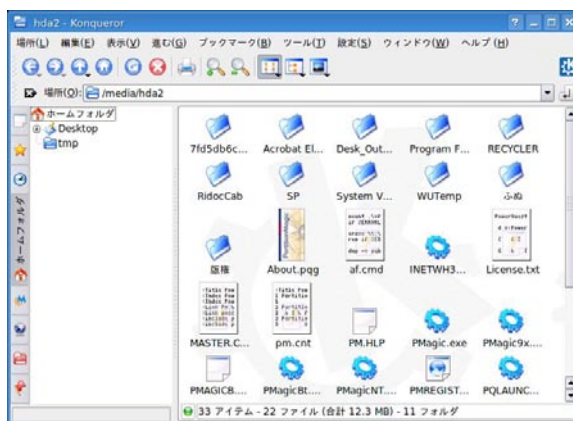


図3 HDD 中身の表示

4 USBメモリの挿入

USBポートにUSBメモリを挿入する。



図4のようなアイコンが表示される。KNOPPIXが認識できるようにアイコンを左クリック(1回)する。

図4 USBメモリアイコン

USBメモリは初期状態で書き込み禁止になっているのでアイコンを右クリックしプロパティから書き込みを許可しておく。

開く(O)	
切り取り(T)	Ctrl + X
コピー(C)	Ctrl + C
名前変更(R)	F2
ごみ箱に移動(M)	Delete
削除(D)	Shift + Delete

アプリケーションで開く(O)	
動作(T)	▶
<u>マウント解除</u>	
<u>Change read/write mode</u>	
圧縮	▶
以下省略	

図5 USBメモリのプロパティ

図5のChange read/write modeを選び図6の「Yes」をクリックし書き込み可能にしておく。

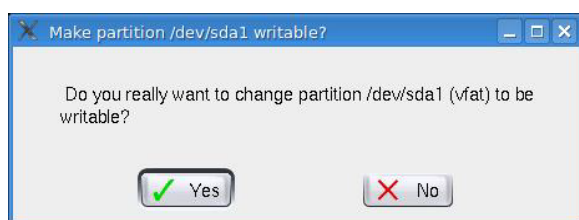


図6 書き込み許可の指定

5 HDDからUSBメモリへ

コピー元(HDD)とコピー先(USBメモリ)のフォルダを同時に表示し救出したいファイル/フォルダをドラッグ&ドロップし「ここにコピー」をクリックする。

救出後、図5の「マウント解除」クリック後USBメモリを外しKNOPPIX画面左下「K」「ログアウト」「コンピュータを停止」を選びCDを取出し後、Enterキーを押下し電源が落ち終了する。

なお、USBメモリ以外に面倒な操作もなく外付けHDD、CD・DVD等にも救出可能。また、ネットワークを介し他のPCにデータの移動も可能。

9 まとめ

今回紹介した利点は、はじめに記したようにPCを分解してHDDを取出すというような不慣れた作業が不要でコストがほとんどかからずWindows上の操作と同じ感覚で作業ができること。

データが消える要因はさまざま。PCの障害、人為的ミス(間違って消去、間違って上書き、PCを落とす等々)、災害(水害・地震・火災)、盗難、ソフトウェア障害……大事な物は複数のメディア(CD,USBメモリ,DVD等)にバックアップをとり用心する。最近メディアは廉価になっているので仕事単位で保存しておく整理が楽。

この方法で救出できなくても最悪印刷した紙があればpdf化等の処理を行い再度電子的に保存可能。

なお、図3のように中身が見えなかったらあきらめバックアップをとっていなかった自分を責めること。どうしてもファイルが必要ならばサルベージ業者に依頼すること。